

Yukai

【遊海】原子力だよりみやぎ

- 2 ごあいさつ
- 3 原子力だよりHistory
- 4 げんちゃんと学ぼう
- 8 環境放射能調査結果
- 10 温排水調査結果
- 12 木になる風景
- 14 女川原子力発電所の状況
- 15 私たちの作品コレクション
- 16 info.お知らせコーナー



宮 城 県

ご あ い さ つ

～「原子力だよりみやぎ」第100号発行にあたり～



宮城県知事
村井 嘉浩

この度、本誌「遊海(Yukai)原子力だよりみやぎ」は、お陰様で記念すべき第100号を発行する運びとなりました。

本誌の創刊号は25年前の昭和57年3月でしたが、この間、昭和59年6月には女川原子力発電所1号機、平成7年7月には2号機、平成14年1月には3号機がそれぞれ営業運転を開始しており、暖かく見守っていただいた地域の皆様方に、厚く感謝を申し上げますとともに、発電所の安全運転および周辺環境の監視等にご尽力をいただいた多くの方々に敬意を表します。

さて、原子力発電においては、安全運転の確保が最優先であり、県は安全協定に基づき環境放射能監視や温排水等の環境調査を実施するなど、その対策に万全を期してまいりました。

本誌では、これら環境調査結果についてお伝えする他、発電所の点検・補修等の運転状況やトラブルに関する情報、放射線や放射能についての解説などについて、分かり易くお伝えすることを旨とし、その時々のお話について掲載させていただいております。

今後とも、地域の皆様方はもとより、県民の安全安心の確保のために有意義な情報をお届けしてまいりたいと考えておりますので、本誌の一層のご愛顧とお引き立てをお願い申し上げます。



女川町長
安住 宣孝

記念すべき「原子力だより100号」の発行にあたり、心からお喜び申し上げますとともに、関係各位のご努力に深く敬意を表します。

女川原子力発電所の安全運転は、本町住民にとって最大の関心事であり、これまでに本誌が伝えた環境放射能や温排水調査の結果は、安全運転の裏付けと理解できるものであります。原子力の話題といえば、難しいものと感じられがちですが、できるだけわかりやすく伝え、難解な原子力に対する知識向上に寄与しており、また、地域の話題を取り上げるなどさまざまな工夫を凝らし、ふるさとへの愛着をおこさせる内容になっており、ここに住む人々と発電所との共存意識に大きく寄与しているものと感じております。

今後とも、この「原子力だより」が、発電所と住民を結ぶ「身近でわかりやすい原子力の広報冊子」として、更に充実していくことをご期待申し上げます。



石巻市長
土井 喜美夫

このたび、記念すべき節目となる「原子力だよりみやぎ」100号の発行にあたり、心からお喜び申し上げますとともに、関係する皆さま方の、これまで積み重ねた御苦労に対し深く敬意を表します。

本誌は、原子力についての正しい情報を提供するために、昭和57年3月に創刊され、以来25年間、環境放射能や温排水の監視測定結果の公表、原子力発電に関する情報提供などを分かりやすく、県民に向けて発信されてまいりました。

最近では、平成17年8月16日に発生した8・16宮城地震による原子炉の自動停止後の耐震安全性や東北電力(株)品質保証体制の総点検、ヨウ素131の検出等について、逐一情報が提供されてきました。

昨今、原子力発電所の安全性が厳しく問われている中で、住民の不安の払拭にますます本誌の役割は重要となっております。

今後とも、「原子力だより」が的確な情報を提供されますことを期待申し上げ、第100号発行にあたりお祝いの言葉といたします。

原子力だより History

100号発刊にあたって、その思い出と歴史を抜粋しました。
色々な方々と出会い、そして支えられてきました。
本当にありがとうございました。そしてこれからもよろしくお願いたします。



げんちゃんと学ぼう



Yukaiでは、毎号女川原子力発電所周辺の環境放射能と調査結果についてお知らせしています。こうしたデータは、いつ、だれが、どこで、どのようにして調査をしているのか、みなさんはご存じですか？今回は、日夜調査を行っている各施設にげんちゃんがお邪魔して仕事の現場を見せていただきました。

1 宮城県原子力センター

ここでは、女川原子力発電所周辺地域のみなさんが安全に暮らしていけるよう、24時間・年中無休で放射能や環境放射線を観測する施設として、昭和56年10月から測定を開始しました。

宮城県原子力センターの主な仕事

- 1 原子力発電所周辺地域の環境放射能などの監視測定、調査研究
- 2 原子力についての知識普及
- 3 原子力防災対策



〒986-2261
宮城県牡鹿郡女川町女川浜字伊勢12-7
TEL.0225-54-3322
FAX.0225-53-5698
ホームページ
<http://www.miyagi-gc.gr.jp/>
Eメール
gensis@pref.miyagi.jp



環境放射線データ表示盤



佐藤所長：まず原子力センターの仕事がひと目でわかる展示をご紹介します。げんちゃん：これ、なんですか？佐藤所長：これは、「環境放射線データ表示盤」と言って、観測所で測定された環境放射線の量を表示しているんだよ。げんちゃん：女川原子力発電所から放射線が出ているということなんですか？佐藤所長：いやいや万が一、放射能が発電所の外に漏れて放射線の量が増えた場合に備えて、すばやく対処できるよう24時間監視し続けているんだ。げんちゃん：でも、表示盤の数字がゼロではないですね。佐藤所長：そうだね、健康への影響は心配ないけど、自然界にはごくわずかな量の放射線が常に存在しているんだよ。げんちゃん：そうか、この数字をいつも監視していれば安心ということですね。佐藤所長：そういうことだね。



佐藤所長：ここでは、「中央監視局」。次の頁の写真にあるモニタリングステーションと呼ばれる観測所から送られてくるデータを収集・解析・保存する装置で、このセンターの頭脳みたいなところなんだ。げんちゃん：コンピュータがずらり並んでいますね。佐藤所長：女川原子力発電所周辺には、環境放射線測定地点がいくつもあってそこから観測されたデータがここに集まってくるんだよ。



中央監視局



モニタリングステーション

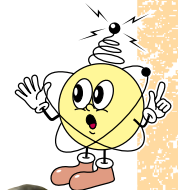
環境放射線と気象に関するデータを収集し中央監視局に送るための施設で、原子力発電所周辺に設置されています。(宮城県：7カ所、東北電力株式会社：4カ所)



環境試料採取地域



試料前処理風景



げんちゃん：なんか、ここは料理教室みたいなところですね。佐藤所長：ここでは、魚介類や農作物をはじめ、水や土などに含まれている放射能を測定するために、女川原子力発電所の周辺から採取したものを測定しやすいように細かく切ったり加工するところなんだ。げんちゃん：これは、コンブかなあ。それともわかめ？佐藤所長：アラメっていうんだよ。ここで刻んでから、乾燥して灰にした後、高感度の測定器を使って調べるんだよ。



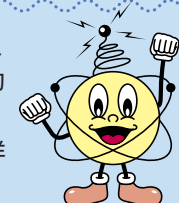
げんちゃん：ところで、Yukaiの中のどのデータがここで観測されたものなのですか？佐藤所長：「女川原子力発電所周辺の環境放射能調査結果」の「放射線の強さ」と「環境試料中の放射能濃度」がそうだよ。ちょっと言葉が難しいかもしれないけど、グラフの値の動きに注目して見てほしいですね。げんちゃん：ありがとうございました。これからもよろしくお願ひします。

環境を確かめる測定・評価システム

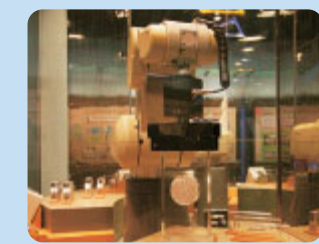


広報展示室「あとみ〜る」ってどんなところ?!

人の目では見ることのできない原子の世界を、パネルやパソコン、ビデオなどでわかりやすく解説してくれる施設で、宮城県原子力センターの2階にあります。誰でも自由に無料で見学できるよ。開館時間は午前9時から午後4時まで、年末年始は休館です。詳しくは、宮城県原子力センターまでお問い合わせください。



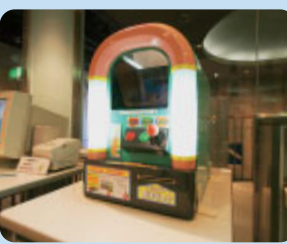
ひろびろとしたフロアには、原子力に関する書籍や解説パネル・機器などがあり、ゲーム感覚で楽しみながら学ぶことができます。



放射線実験ロボット
ロボットアームを使って、放射線を通しやすい物や通しにくい物を置いて、放射線の性質を学ぶ実験装置。



スパークチェンバー
宇宙から飛んでくる宇宙線を目で見えるように工夫した装置。以前は、実際に宇宙線の観測装置として使用されていた機械を展示用に改良したものです。



ちびクラ
パソコンが出題するクイズに答えると、写真シールが印刷できる「ちびクラ」があります。「あとみ〜る」で子供たちに人気ナンバーワンの展示装置です。



図書ライブラリー
原子力や放射能に関する様々な資料や原子力発電・エネルギーに関するいろいろな図書が揃っています。

2 宮城県水産研究開発センター

宮城県水産研究開発センターは、明治32年4月に宮城県水産試験場として創設され、宮城県内の水産業に関する調査や研究、漁業後継者の育成などに取り組んでいます。

宮城県水産研究開発センターの3本の柱

- 1 県内にある水産試験研究機関の試験研究に関する企画調整
- 2 情報化時代への対応および資源管理型漁業の推進
- 3 先端技術分野・漁場環境保全などの研究開発の促進

〒986-2135 宮城県石巻市渡波字袖ノ浜97番6
TEL 0225-24-0138 FAX 0225-97-3444
ホームページ <http://www.pref.miyagi.jp/suisan-resc/>
Eメール suiken@pref.miyagi.jp



どう?げんちゃん。自然がいっぱいでしょ!
ほんとにいい景色ですね

ご案内人 西堀 修一所長

エントランスホール

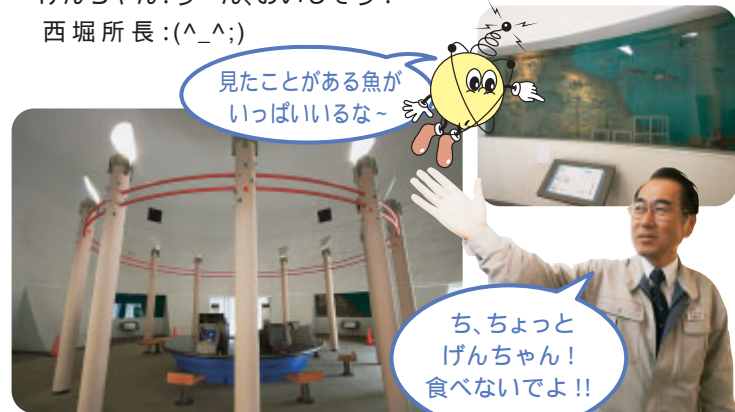
げんちゃん:おじゃまします。わー、大きなホールですね。
西堀 所長:ここは一般の方が自由に見学できる施設になっていますよ。この水槽の中には、養殖に成功した私たちの研究相手です。これがカキ、こちらはソイ、アナゴ、ヒラメ、カレイ……。

げんちゃん:うーん、おいしそう!

西堀 所長:(^_^;)

見たことがある魚がいっぱいいるな~

ち、ちょっとげんちゃん! 食べないでよ!!



ギャラリー

げんちゃん:長い廊下が続いていますね。
西堀 所長:こちらは、ギャラリースペースになっていて、調査船の模型や宮城県近海でとれる魚や貝などの生態や海の環境が詳しく説明してあります。
げんちゃん:夏休みの自由研究などには、もってこいだね。

温排水調査

げんちゃん:これは、何をやっているところですか?
西堀 所長:女川原子力発電所は、発電するときに発生する熱を冷やすため海水を使っていて、その温められた水(温排水)が海中に放出されています。この写真はその温排水がどのように広がり、海の環境に影響を与えていないかを調査しているところです。
げんちゃん:Yukaiに載っている「女川原子力発電所周辺の温排水調査結果」ですか?
西堀 所長:正解! 私たちは、みやぎの海の環境と水産業を守るため、こうした調査を繰り返し行っています。その一部をYukaiに提供しているんですよ。
げんちゃん:これからも、美しいみやぎの海を守り続けてくださいね。ありがとうございました。



事務所内の様子

西堀 所長:2階の事務所では、海で行った調査活動や1階の実験室などで行った研究結果をまとめたり、新しい企画を練ったりしています。
げんちゃん:窓から海が見えるよ~。いいなあ。
西堀 所長:よく晴れた日には、福島県沿岸まで見渡すことができますよ。
げんちゃん:こんな素敵な仕事場で、ぼくも仕事したいなあ。
西堀 所長:げんちゃんも、ぜひ水産関係の仕事に就いてくださいよ。

いい眺め!



3 宮城県原子力防災対策センター (オフサイトセンター)

万が一、女川原子力発電所で原子力災害が発生した場合、国・宮城県・女川町・石巻市・東北電力株式会社をはじめ、防災に関する機関が集まり、住民の安全確保や災害対策にあたる拠点となる施設です。

平常時は、原子力保安検査官が発電所の安全運転のための検査・指導などを行っています。また、緊急時には、原子力災害合同対策協議会の運営なども行います。

〒986-2261 宮城県牡鹿郡女川町女川浜字伊勢12-1
TEL 0225-54-3609(経済産業省原子力安全・保安院 女川原子力保安検査事務所)



ここで重要なことが話し合われるんですね。
この建物には、最先端の機器がいっぱいあるんだよ

ご案内人 横倉 広政所長

原子力保安検査官の仕事

女川原子力発電所を設置・運転する事業者が、毎日安全規則に基づいて原子力施設を運転しているかどうか、国民を代表して中立・公正な立場、科学的・合理的な視点、安全を守るという強い使命感をもって、事業者の安全対策を厳しく監視するのが、原子力保安検査官です。毎日の原子力施設の巡視点検をはじめ、年4回の保安検査などを行っています。

原子力災害合同対策協議会全体会議場

げんちゃん:宮城県原子力センターの隣にある宮城県原子力防災対策センターへとやってきました。こんにちは。
横倉 所長:こんにちは。さっそくこのセンターの中心部である2階にご案内しましょう。
げんちゃん:なんか映画のセットみたいですね~。
横倉 所長:原子力災害が発生したとき、国や県などあらゆる関係機関と連携して対策にあたり、テレビ会議システムやパソコンなどのハイテク機器を活用しながら災害対応方針を決定します。そのため、こうした機器類はすぐ作動できるように常日頃からメンテナンスをしています。
げんちゃん:万が一のときは、何人くらい集まるのですか?
横倉 所長:そうですね。このフロアだけで300人くらいの方が集まることになります。

緊急用なので普段はガラとしているんですよ



事務所内風景

横倉 所長:私たちの事務所と職員です。
げんちゃん:みなさん、こんにちは。
横倉 所長:この他に、女川原子力保安検査官が3名おりますが、今は女川原子力発電所に行っています。
げんちゃん:原子力災害は絶対に起こってはいけないものですが、もしもの時はよろしくお願ひします。

みなさんのおかげで僕たちは安心して暮らせるんだね

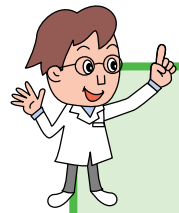


すごい人数ですね! 緊迫した雰囲気が伝わってきます。



原子力防災訓練の様子

女川原子力発電所で原子力災害が発生したことを想定して、本番さながらに国、関係自治体、事業者、地域住民が参加する訓練(平成18年10月23日、24日の実施)で、年に1回行われています。



女川原子力発電所周辺の 環境放射能調査結果

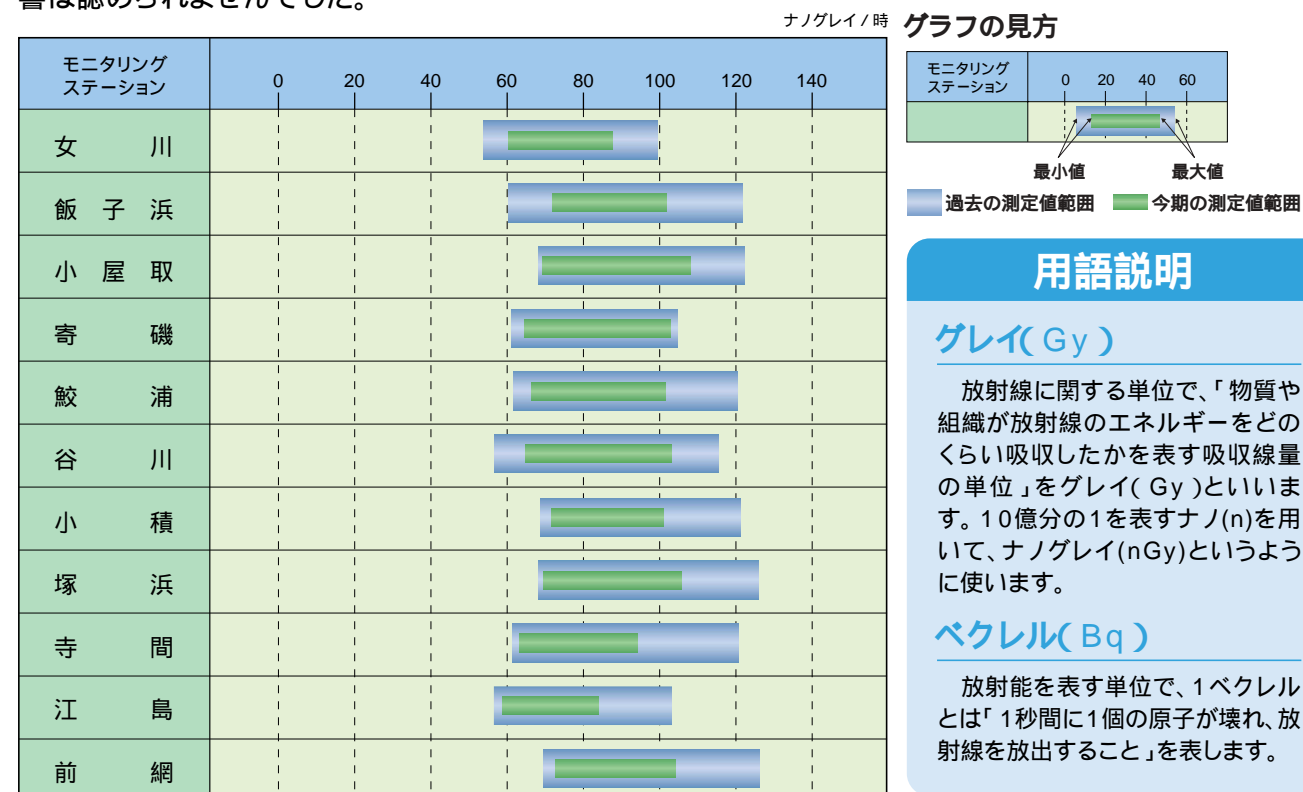
(平成18年7月~9月)



今期の調査の結果、女川原子力発電所による放射線および放射能の環境への影響は認められませんでした。

1 放射線の強さ(空間ガンマ線線量率)

今期の調査結果は、下図のように過去の測定値の範囲内であり、女川原子力発電所による環境への影響は認められませんでした。



用語説明

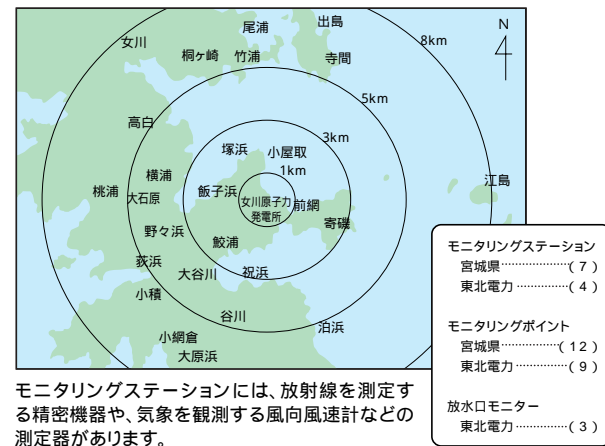
グレイ(Gy)

放射線に関する単位で、「物質や組織が放射線のエネルギーをどのくらい吸収したかを表す吸収線量の単位」をグレイ(Gy)といいます。10億分の1を表すナノ(n)を用いて、ナノグレイ(nGy)というように使います。

ベクレル(Bq)

放射能を表す単位で、1ベクレルとは「1秒間に1個の原子が壊れ、放射線を放出すること」を表します。

モニタリングステーション、モニタリングポイント及び放水口モニター設置地点



モニタリングステーションには、放射線を測定する精密機器や、気象を観測する風向風速計などの測定器があります。

モニタリングポイントとは?

女川原子力発電所周辺において、空間ガンマ総積算線量を測定するための無人測定点が「モニタリングポイント」です。

県および東北電力(株)は、発電所周辺に計21カ所のモニタリングポイントを設置し、3ヶ月ごとの積算線量を測っています。

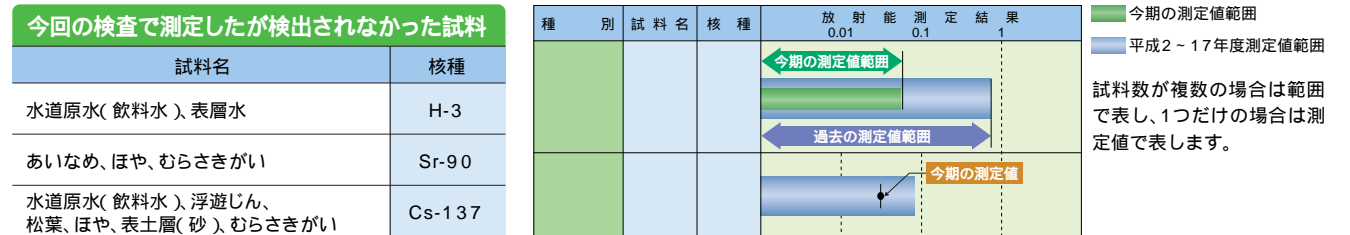


2 環境試料中の放射能濃度

各試料とも、過去の測定値の範囲内であり、女川原子力発電所による環境への影響は認められませんでした。

| 種別 | 試料名 | 核種 | 放射能測定結果 | | | | | | 単位 | 試料数 | 採取月 |
|-------|------|--------|---------|-----|---|----|-----|------|-----------|-----|-----|
| | | | 0.01 | 0.1 | 1 | 10 | 100 | 1000 | | | |
| 指標植物 | よもぎ | Sr-90 | | | | | | | ベクレル/kg生 | 2 | 7 |
| 指標植物 | よもぎ | Cs-137 | | | | | | | ベクレル/kg生 | 2 | 7 |
| 魚介類 | あいなめ | Cs-137 | | | | | | | ベクレル/kg生 | 1 | 7 |
| 魚介類 | うに | Cs-137 | | | | | | | ベクレル/kg生 | 1 | 8 |
| 海水 | 表層水 | Cs-137 | | | | | | | ベクレル/リットル | 2 | 7 |
| 指標海産物 | アラメ | Sr-90 | | | | | | | ベクレル/kg生 | 1 | 8 |
| 指標海産物 | アラメ | Cs-137 | | | | | | | ベクレル/kg生 | 5 | 7・8 |

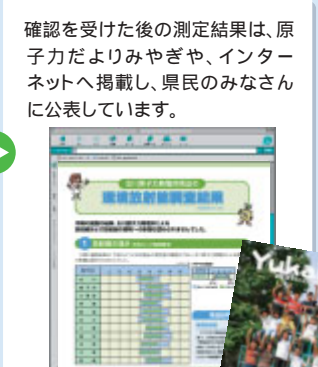
グラフの見方



核種H-3...トリチウム Sr-90...ストロンチウム90 Cs-137...セシウム137と表します。

環境放射能や温排水の測定結果を、定期的にお知らせしています。

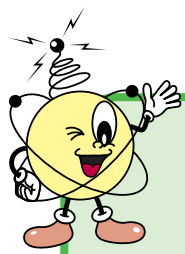
県及び東北電力(株)が測定した環境放射能、温排水などのデータは右の図のようなプロセスを経て、県民のみなさんに公表しています。



県及び東北電力(株)が、環境放射能や温排水を調査・測定します。

測定したデータについて、専門家の人たちが環境に異常がないか評価・確認します。

確認を受けた後の測定結果は、原子力だよりみやぎや、インターネットへ掲載し、県民のみなさんに公表しています。



女川原子力発電所周辺の 温排水調査結果

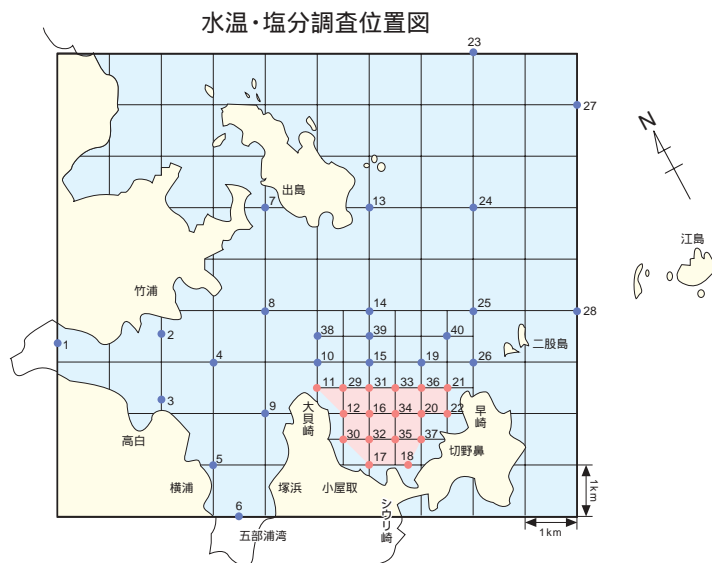
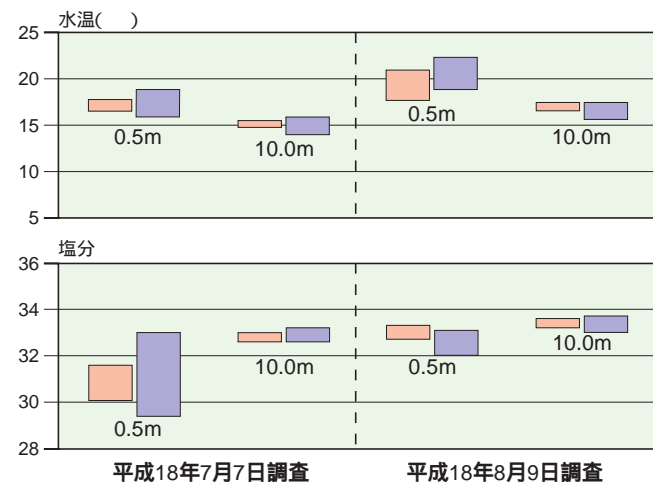
(平成18年7月~9月)



今期の調査の結果、女川原子力発電所周辺の
温排水によると考えられる異常な値は観測されませんでした。

1 水温・塩分調査

今期の調査結果から、温排水によると考えられる異常な値は、観測されませんでした。



注1 前面海域とは大貝崎と早崎を結ぶ線の内側(調査点11,12,16,17,18,20,21,22,29-37)をいいます。
注2 0.5m,10.0mは、調査水深を表しています。

用語説明

放水口モニター

放水口モニターは、発電所の放水路より海水(放水)を採取し、発電所放水口付近の陸上に設置されたNaI(Tl)検出器により、海水(放水)中の放射能(全ガンマ線計数率)を連続的に測定する設備で、1号機から3号機の各号機に設置されています。



放水口モニター(2号機)

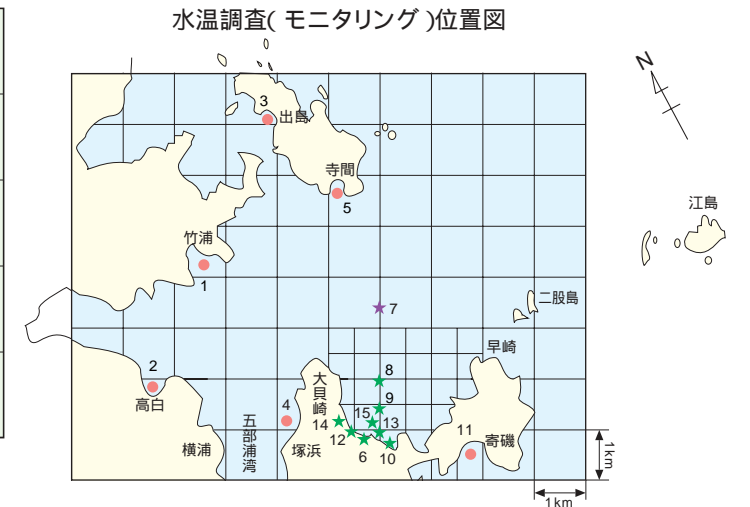
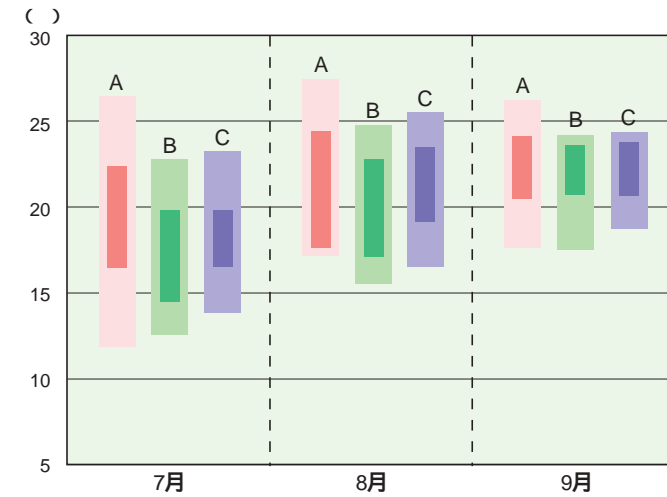


放水口モニター監視盤(2号機)

2 水温連続モニタリングによる水温調査

今期の調査結果から、温排水によると考えられる異常な値は、観測されませんでした。

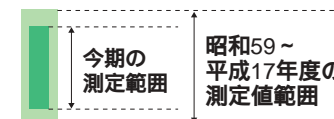
(イ)水温測定範囲



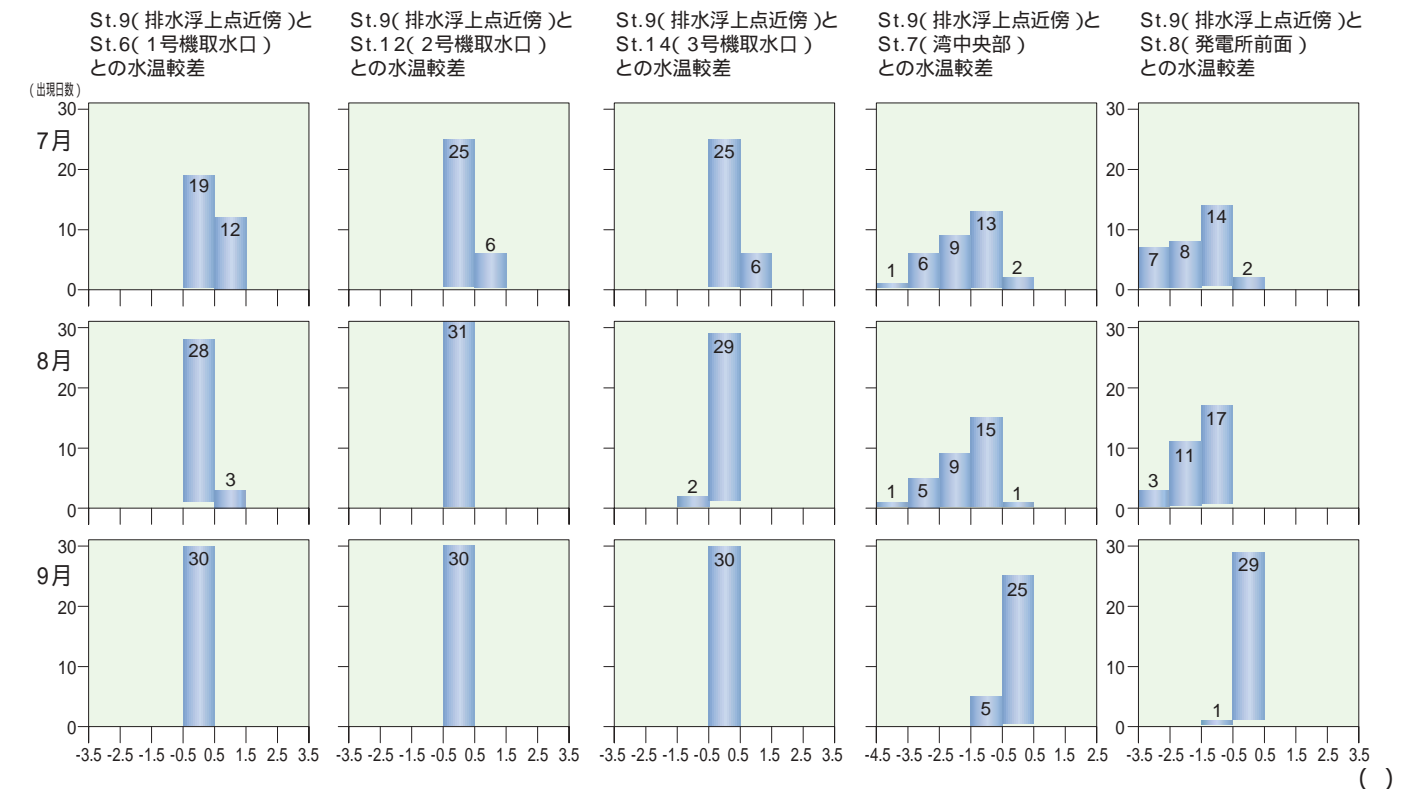
凡例
A:女川湾沿岸(St.1~5,11)県調査地点
B:前面海域(St.6,8,9,12,14)東北電力調査地点
C:湾中央(St.7)東北電力調査地点

グラフの見方

水温連続モニタリングにより海水温を測定しています。



(ロ)測定点間の水温較差



グラフの見方

このグラフは、取水口と浮上点の海水の温度差が現れた日数を示しています。例えば、左上のSt.9とSt.6の7月のグラフでは、温度差が-0.5 ~ 0.5 の日が19日間、0.5 ~ 1.5 の日が12日間計測されたことを表しています。



VOL.8

ときに華やかに、ときに気高く
ときには、またいとおしく…。
土地に根をおろし年月とともに
さまざまな表情を見せ、
人々の営みを見つめてきた木。
木と人々が連綿と培ってきた
その土地の歴史、文化を訪ねます。



杉【ヒノキ目・スギ科】

スギはヒノキ目スギ科に属する常緑高木で、日本で最もポピュラーな針葉樹木の一つです。柔らかく加工しやすいため、古くから建築用材に用いられ全国各地で広く植林が行われています。

龍澤寺の杉並木

龍澤寺は、雄勝にある天雄寺の末寺として永禄2(1559)年に開山されました。参道の杉並木は、第八世住職の時代に千数百本の杉の木を植林したもので、現在は30本ほどが残っています。樹齢およそ400年の見事な杉の大木群は、石巻市の文化財に指定されています。



龍澤寺

龍澤寺の杉並木

石巻市雄勝町立浜

太平洋に突き出した雄勝の半島を周遊する道路を巡ると、雄大な海原を見ながら入り組んだ海岸線の変化に富んだ眺望を堪能することができます。青く澄み渡った大空に高くそびえる白亜の大須崎灯台や、ときめき夢半島(峠崎)から眺めると、まるでひょっこりひょうたん島を思わせる八景島など、見どころ豊富な格好のドライブコースです。



太古の営みを今に伝える 雄勝荒魚竜化石群

夏になると、多くの海水浴客で賑わう荒浜海水浴場。この海岸一帯に露出する岩盤は、三疊紀前期(2億4000万年前)のもので考えられ、雄勝荒魚竜化石は歌津魚竜と並び世界で最も古い年代のものであり、学術的にも価値が高いことから石巻市の文化財に指定されています。



海を行き交う人々の拠り所 大須崎灯台

雄勝の半島の最も東端に位置する大須集落の高台には、人々の暮らしを見守るように白亜の大須崎灯台がそびえています。昭和24年9月に初めて灯火がつき、以来およそ半世紀にわたって航行する船の拠り所となってきました。

貴重な暖地性植物群落の北限地 八景島

名振湾に浮かぶ八景島は、全島がユズリハやモチノキなどの暖地性常緑樹に覆われており、その希少性から昭和39年6月27日に国の天然記念物に指定されました。写真の手前にある小島が小八景島、その奥のひょうたん型の大きな島が八景島です。



ちょっと寄り道

雄勝峠自然公園(恐竜ランド)

雄勝峠自然公園は、総延長200mのローラーすべり台と恐竜をモチーフにして作られた木製遊具のある公園です。園内はよく手入れされた芝生で、お弁当を広げながら楽しく遊ぶことができます。



白銀崎

白銀崎は、外洋に面した雄大な海原と海岸線まで迫った山々が、荒々しい岩壁や怪奇な岩礁がつくった絶景の地として、「みやぎ新観光名所100選」に選ばれています。岬の突端には白銀崎灯台があり、灯台へ至る道沿いには和銅年間(708~715)に百濟から帰化し陸奥守に任じられた王敬福によって祀られたと伝えられる白銀神社もあります。

フチケルメ 牡蠣

グリコーゲンを多く含む「海のミルク」とも呼ばれるカキは、言わずと知れた宮城県特産の一つです。およそ300年前、松島湾でカキの養殖が始められ、以来養殖技術の改良を重ねながら全国2位の生産量を誇るまでになりました。カキフライや焼きガキ、カキご飯など、食べ方は色々ありますが、やはり新鮮なカキを生でいただくのが一番贅沢な食べ方と言えるでしょう。また、雄勝湾漁協では「岩ガキ」の種苗化に成功。新たな特産品として期待されています。



Event Information

寒いこの季節に、食で楽しみ、目で楽しみ心も体も温めよう!

※日程などは変更になることがありますので、お出かけ前にご確認ください。

1月

1日(月) 石巻市 石巻市桃生総合支所前
元旦マラソン祭り
☎ 0225-76-4535(桃生公民館)

7日(日) 石巻市 総合体育館
10,000人寒げい古
☎ 0225-95-8998(総合体育館)

13日(土)~14日(日) 女川町 マリンバル女川シーパル
マリンバル女川シーパル たら祭り
☎ 0225-54-4714(マリンバル女川シーパル)

24日(水) 石巻市 雄勝名振地区
おめつき
☎ 0225-57-3052(雄勝公民館)

28日(日) 女川町 マリンバル女川お祭り広場
女川のまつり 冬のまつり
☎ 0225-53-4033(女川町商工観光課)

28日(日) 石巻市 桃生公民館
桃生地区芸能祭
☎ 0225-76-4535(桃生公民館)

2月

5日(月) 石巻市 河北釜谷地区
釜谷の水かぶり
☎(代表)0225-62-2111
(河北総合支所総務企画課)

10日(土)~11日(日) 女川町 マリンバル女川シーパル
マリンバル女川シーパル
あんこう祭り
☎ 0225-54-4714(マリンバル女川シーパル)

3月

10日(土)~11日(日) 女川町 マリンバル女川シーパル
マリンバル女川シーパル かに祭り
☎ 0225-54-4714(マリンバル女川シーパル)



地震による女川原子力発電所自動停止後の経過について(第5回)

- 平成18年8月22日 県は東北電力株式会社より女川原子力発電所1号機の耐震安全性についての解析結果(一部修正)の報告書を受領。
- 平成18年9月13日 原子力安全・保安院の「耐震・構造設計小委員会(第10回)」が開催され、女川原子力発電所1号機の耐震安全性は確保されていると評価。同院は、東北電力株式会社へ評価結果を通知。
- 平成18年9月19日～9月20日 原子力安全・保安院は女川原子力発電所1号機の評価結果について、県、女川町、女川町議会原発対策特別委員会、石巻市、石巻市議会総合防災対策特別委員会に説明。

東北電力株式会社に対する原子力安全・保安院の指示事項 「原子力発電所の品質保証体制の総点検について」

- 平成18年7月7日 原子力安全・保安院は、東北電力株式会社に対し、品質保証体制の総点検を行うよう指示。同日、県は東北電力株式会社に対し、是正措置を講ずるよう要請を実施。
- 平成18年7月31日 県は東北電力株式会社より「原子力発電所の品質保証体制の総点検指示」対応について(中間報告)説明を受ける。
- 平成18年8月23日 県は東北電力株式会社より女川原子力発電所の品質保証体制総点検の結果に関する報告書を受領。
- 平成18年8月25日 原子力安全・保安院は、東北電力株式会社から提出された「品質保証体制の総点検報告書」の確認のため、女川原子力発電所において保安調査を実施。県と市町も同行。
- 平成18年8月28日 原子力安全・保安院は、県と市町の同行のもと東北電力株式会社本店の保安調査実施。
- 平成18年8月30日 原子力安全・保安院は、8月23日に提出された東北電力株式会社の総点検報告書の内容を概ね妥当であると判断し、評価内容を県、女川町及び石巻市に説明。

平成18年10月28日～10月29日 原子力安全・保安院は、県、女川町、石巻市と共催で、石巻市牡鹿体育館(参加者298名)、女川町生涯教育センター、(参加者346名)石巻市立渡波小学校(参加者299名)において、女川原子力発電所に係る耐震安全性及び東北電力株式会社の品質保証体制総点検結果に係る住民説明会を開催。当日の様子は、こちらをご覧ください。
http://www.nisa.meti.go.jp/7_nuclear/15_koho/index.htm(原子力安全・保安院のホームページ)

- 平成18年10月30日 村井知事、安住女川町長、土井石巻市長が女川原子力発電所を視察。
- 平成18年11月17日 知事、女川町長及び石巻市長が協議の結果、女川原子力発電所1号機の耐震安全性及び原子力品質保証体制総点検について理解する旨を東北電力株式会社に通知。
- 平成18年11月23日 女川原子力発電所3号機、原子炉を起動。
- 平成18年12月5日 女川原子力発電所2号機、原子炉を起動。



住民説明会(女川町)



住民説明会(石巻市)



女川原子力発電所を視察する(写真左から)安住女川町長、村井知事、土井石巻市長



平成18年11月17日 知事、女川町長、石巻市長が東北電力(株)に通知

私たちの作品 コレクション

石巻市立
東浜小学校の
みなさん

小さな作家たちの作品が勢ぞろい。
将来が楽しみな元気いっぱいの
力作が並ぶ誌上展覧会です。



東浜小学校は、石巻市にあり、牡鹿半島の真ん中、石巻市街からは約20kmほどのところに位置する全校で29名の小規模校です。本校は、三方を海に囲まれ、自然に恵まれた環境の中で子どもたちは、伸び伸びと暮らしています。本校の自慢は、平成元年度から全校で取り組んでいる「獅子風流(ししぶり)」です。校内の行事だけではなく、地域のイベント等にも数多く参加し、地域の人々にも親しまれています。

平成18年度原子力防災訓練が行われました

平成18年10月23日、24日に、宮城県と女川町・石巻市の共催により、原子力防災訓練を実施しました。予定していた住民避難訓練は、悪天候のため一部中止となりましたが、女川町立女川第二小学校の生徒の皆さんの校舎内での避難や、避難所での地元婦人防火クラブの皆様方による炊き出しなどの御協力をいただきました。今後とも住民の皆様方の御理解・御協力をお願いいたします。

環境試料からのヨウ素131の検出等について(第3回)

①「あらめ」から検出されたヨウ素131について

7月に発電所前面海域で採取した「あらめ」から、微量の人工放射性物質のヨウ素131が検出されましたことについて、現在、県は東北電力(株)と合同で調査をしております。

これまでの調査結果では、現時点でヨウ素131は女川町の海域からは検出されなくなりましたが、石巻市佐須浜、大室、東松島市宮戸及び七ヶ浜町箱島付近で採取した「あらめ」からは極微量ですが検出されております。

このことにつきましては、11月7日に開催しました「女川原子力発電所環境調査測定技術会」において専門家のの方々による検討・評価を経て、11月20日に開催しました「女川原子力発電所環境保全監視協議会」において以下の結果を確認しました。

このことによる人体への影響はない。
女川原子力発電所1～3号機から放出した可能性は極めて低い。

県としましては、念のため今後も引き続き調査を行い、今後の推移などを確認してまいります。

② 発電所敷地内の浄化槽から人工放射性物質が検出されたことについて

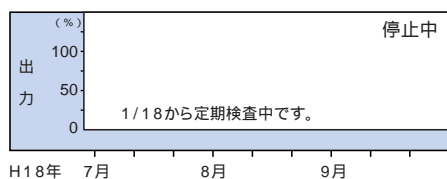
女川原子力発電所敷地内の2つの浄化槽の污泥から極微量のヨウ素131、コバルト60等の人工放射性物質が検出されたことにつきましては、原因は作業員に付着していた極微量の放射性物質が手洗いなどで浄化槽に流入し蓄積したものと推定し、県は東北電力(株)に対して放射線管理区域から退出する際の手洗いを徹底することを要請しました。

その後、県と東北電力(株)は当該浄化槽の放射性物質の再調査を行いました。現在、ヨウ素131、コバルト60等の人工放射性物質は検出されていません。

女川原子力発電所運転状況のお知らせ

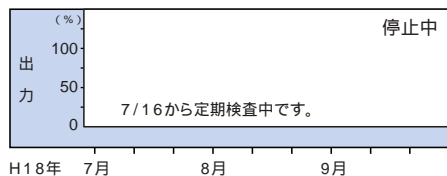
1号機

電気出力
524,000kW
1/18 8:50 第17回定期検査



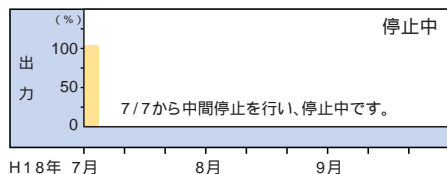
2号機

電気出力
825,000kW
5/11 1:00 中間停止
7/16 9:00 第8回定期検査



3号機

電気出力
825,000kW
7/7 1:03 中間停止



平成18年7月～9月調査結果公表

11月20日、県と東北電力(株)が実施している環境放射能及び温排水調査結果が「女川原子力発電所環境保全監視協議会」の確認を経て公表されました。(本誌P8～P11に掲載しています。)

表紙より



今月の表紙は、東浜小学校のみなさん。竹浜地区に伝わる伝統芸能「竹浜獅子風流(ししふり)」を全校生徒29名全員で舞います。厳しい練習にもへこたれず、地域の行事などで披露されるその姿は、住民の方々大変喜ばれています。

原子力だよりみやぎ 宮城県環境生活部原子力安全対策室
Yukai 遊海 仙台市青葉区本町三丁目8番1号

この広報誌は企画から印刷までを外注し作成しています。23,300部作成し1部あたりの単価は約44円となっています。

Tel.022-211-2607 Fax.022-211-2695
<http://www.pref.miyagi.jp/gentai/>